

ごあいさつ



日本WHO 協会理事
大阪府看護協会 会長
高橋 弘枝

日本WHO協会中村理事長はじめ役員の皆様におかれましては、日頃より当協会の事業運営にご支援ご協力を賜りまして心から感謝申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症に罹患された方々並びに令和2年7月豪雨に被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。そして、一日も早い回復・復旧をお祈りしております。また、緊張感の続く新型コロナウイルス感染症の現場で、最善を尽くす医療職の皆さまには深く敬意を表します。

大阪府では、緊急事態宣言が解除された後も1日の感染者数が最多を更新しており、感染の再拡大が危惧される状況です。当協会では「コロナ対策本部」を設置しており、引き続き無症状・軽症者のホテル宿泊療養への対応に係る看護師およびPCR検体採取外来での対応看護師の派遣を行っています。また、第2波に向けて医療体制維持の為、大阪府と協働しCOVID-19に対応できる看護従事者人材育成および派遣調整事業に取り組んでいます。

折しも今年は、Nursing Nowキャンペーンの年でもあります。Nursing Nowキャンペーンは世界保健機関（WHO）と国際看護師協会（ICN）が連携し、看護職への関心を深め、地位を向上することを目的

とした世界的なキャンペーンで、ナイチンゲール生誕200年となる2020年末までキャンペーンを展開いたします。そこで、大阪府看護協会は日本WHO協会と連携し、11月にはイベントを行う予定です。ただ、新型コロナウイルスの感染拡大で社会が大きく変わろうとしている今、「かけがえのない看護の力」への期待と関心はますます高まっています。社会の変化をチャンスと捉え、時代のニーズに柔軟に対応した事業運営を行ってまいります。そして、「新しい生活様式」が広がる社会の実現を目指して、日本WHO協会と大阪府看護協会が強力なタッグを組み、感染症対策に取り組んでいきたいと存じます。まさにNursing Nowです。

また、3年前から中村理事長のご指導の下、来日中あるいは在住の外国人に対して安全・安心の医療を提供するための国際看護研修を開始いたしました。研修修了者は87名となり、現在は大阪府における外国人医療拠点病院はじめ地域医療機関まで活動の場を広げております。

今後とも日本WHO協会との連携の下、事業を積極的に展開していきたいと存じます。引き続きよろしくご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

2020年10月